

7/31 終業式 式辞

感染症や記録的な大雨から身を守り、今日の終業式を無事迎えられたことを本当に嬉しく思います。何よりもまず、命が大事、…事あるごとに全員で確認し合いたいと思います。

私自身、気の抜けない1学期でしたが、思いやりのある皆さんの言葉や前向きな行動に支えられ、元気に過ごすことができました。前例のない過酷な状況の中、目の前の皆さんは、本当によく頑張りました。素晴らしかったです。そして、誇らしく思いました。

今日は、3年生を中心に本当に輝いていた、カッコよかった部活動、7月の練習試合や各種大会、そして日々の授業の様子から、私自身が学んだことを話したいと思います。

一つ目は、**基礎基本の習得が自分を輝かせる**ということ。

… 限られた時間の中で、いかに中身の濃い練習と学習を繰り返し、本物にできるかが勝負だということです。それによって、試合や試験での輝きが違ってきます。

試合会場では、ちょっとした時間も上手に使って、自分に必要な練習やトレーニングをしている姿が、飯豊中にも、他校にも見られました。そうした取り組みを続けられる人は必ず力を蓄え、結果を出します。ここ一番で実力を発揮できるのは、そういう人です。

… また、授業や集会で声がけしている「立腰」は、全国的に見ても、力を入れている学校は数多くあります。埼玉、東京、長崎、佐賀、栃木の各県をはじめ、全国各地で、皆さんと同じように、授業中の美しい姿勢に気を配って学校生活を送っています。学力を身に付けるための土台となる飯豊中の「立腰」を、全国でも誇れる本物の「立腰」にしたいと強く思います。

二つ目は、**自分の役割や持ち味を生かす**ということ。
どんな人にも、得意なことやその人なりの持ち味があります。

もちろん、不得意なことや弱点もありますが、それはお互い様で、互いに補い合えばよいと思いませんか？

自分では気づいていないかもしれませんが、皆さんのまわりには、次のような人が確かにいます。

- ・あなたを理解しようとしてくれる人、
- ・できないことをカバーしてくれる人、
- ・勇気のない自分の背中を押してくれる人、
- ・いつもいつも応援してくれる人、
- ・ほんの小さなことでも認めてくれる人、
- ・自分のことのように心配してくれる人、
- ・自分の失敗や嫌なところを許してくれる人、
- ・わがままな自分を丸ごと受け入れてくれる人

こうした人への感謝の気持ちを決して忘れないでください。そして、自分ができることはしっかりやろう、自分の役割を果たそう、持ち味を生かそう、と前向きに取り組める皆さんであってほしいと願っています。

最後に、

飯豊中革命 ~2020~について

中間評価も含め、廊下掲示を全員分読ませてもらいました。

↓

「革命」とは、これまでの価値観や常識などが根本からくつがえる、ものすごいことです。

ですから、例えば3年佃千里さんが書いてくれたように、歌声活動は、元々、飯豊中が誇れる活動だったのに、今では、歌うことが嫌いという人もいるのであれば、2学期は、そういう人たちの行動が変わるように取り組んでいくべきではないでしょうか。

また、3年鈴木健介君が書いてくれたように、挨拶ができていない人に惑わされず、自分が飯豊中を変えるという気持ちで、明るい挨拶を心がけることは、とっ

でも大切ですが、その健介くんの姿が、まわりの人をも巻き込むものであってほしいと思います。

これから、みなさん一人ひとりの中に本当の意味での革命が起き、行動が変わり、まわりの仲間をも巻き込んでいく大きな力となっていくことを心から願っています。

夏休み明けには、すぐに運動会があります。今年は、様々な制約がありますが、みなさんのアイデアと団結力で、今年しかできない感動の運動会を創り上げていきたいものです。

それでは、
自分を信じ、期待してくれている人を絶対に裏切ることのない、充実した夏休みを過ごしてくれることを期待し、1学期終業式の式辞とします。